

P C T

## 国際調査報告

(法 8 条、法施行規則第40、41条)  
〔P C T 1 8 条、P C T 規則43、44〕

出願人又は代理人 の書類記号 P023P02	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(P C T / I S A / 2 2 0) 及び下記 5 を参照すること。	
国際出願番号 P C T / J P 0 3 / 0 2 6 0 1	国際出願日 (日.月.年) 0 5 . 0 3 . 0 3	優先日 (日.月.年) 2 9 . 0 3 . 0 2
出願人 (氏名又は名称) 科学技術振興事業団		

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条 (P C T 1 8 条) の規定に従い出願人に送付する。  
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 5 ページである。

☐ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

## 1. 国際調査報告の基礎

- a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。  
☐ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。
- b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。  
☒ この国際出願に含まれる書面による配列表  
☒ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に、この国際調査機関に提出された書面による配列表  
☐ 出願後に、この国際調査機関に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。  
☒ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

2. ☒ 請求の範囲の一部の調査ができない (第 I 欄参照)。

3. ☐ 発明の単一性が欠如している (第 II 欄参照)。

4. 発明の名称は ☒ 出願人が提出したものを承認する。  
☐ 次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は ☒ 出願人が提出したものを承認する。  
☐ 第 III 欄に示されているように、法施行規則第47条 (P C T 規則38.2(b)) の規定により国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から 1 カ月以内にこの国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 要約書とともに公表される図は、  
 第 \_\_\_\_\_ 図とする。 ☐ 出願人が示したとおりである。 ☒ なし  
☐ 出願人は図を示さなかった。  
☐ 本図は発明の特徴を一層よく表している。

## 第 I 欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見 (第 1 ページの 2 の続き)

法第8条第3項（PCT17条(2)(a)）の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1. ☒ 請求の範囲 7 は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。  
つまり、

請求の範囲 7 は、治療による人体の処置方法に関する態様を含むものである。

2. ☐ 請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、

3. ☐ 請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、従属請求の範囲であって P C T 規則 6. 4 (a) の第 2 文及び第 3 文の規定に従って記載されていない。

## 第Ⅱ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見 (第1ページの3の続き)

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとの国際調査機関は認めた。

1. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2. ☐ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

## 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl<sup>7</sup> A61K48/00, A61K45/00, A61K9/51, A61K9/08, A61K38/45, A61P1/16, A61P35/00

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl<sup>7</sup> A61K48/00, A61K45/00, A61K9/51, A61K9/08, A61K38/45, A61P1/16, A61P35/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

CAPlus (STN), BIOSIS (STN), MEDLINE (STN), EMBASE (STN), WPI

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
P, X	黒田俊一他, 'バイオナノ粒子を用いる新しい遺伝子導入法の開発と先端医療への応用' Materials Integration, Jul.2002, vol.1 5, no.7, p.12-17	1-6
P, A	村岡優他, 'ドラッグデリバリーを目指した特異性改変型B型肝炎表面抗原中空ナノ粒子の開発' 化学工学会年会研究発表講演要旨集, 2003.02.23, 68th, p.443 L304	1-6

☒ C欄の続きにも文献が列举されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

- 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

- 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

0 6 . 0 6 . 0 3

国際調査報告の発送日

24.06.03

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

大久保元浩

4 C

8 8 2 8

電話番号 03-3581-1101 内線 3452

C (続き) 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	WO 01/64930 A1 (JAPAN SCIENCE AND TECHNOLOGY CORP) 2001.09.07 & EP 1262555 A1 & JP 2001-316298 A	1-6
A	山田忠範他, 'B型肝炎ウイルス表面抗原ナノ粒子を用いた新しい 遺伝子導入法の開発' 化学工学会年会研究発表講演要旨集, 200 1.03.02, 66th, p.271 F307	1-6
A	EP 201416 A1 (INST PASTEUR) 1986.11.12 & FR 2581394 A1 & JP 61-258000 A & DE 3678609 A1 & JP 8-198897 A	1-6
A	DELPEYROUX, F. et al. 'Insertions in the hepatitis B surface antigen. Effect on assembly and secretion of 22-nm particle s from mammalian cells.' J. Mol. Biol., 1987, vol.195, no.2, p.343-350	1-6
Y	OKADA, H. et al. 'Effective cytokine gene therapy against an intracranial glioma using a retrovirally transduced IL-4 pl us HSVtk tumor vaccine.' Gene Therapy, 1999, vol.6, no.2, p.219-226	1-6
Y	WO 01/93836 A1 (BOULIKAS T) 2001.12.13 文献全体、例えばcl aim9 & AU 2001/75423 B & EP 1292284 A2 & US 2003/72794 A	1-6
Y	QIAN, C. et al. 'Induction of sensitivity to ganciclovir in human hepatocellular carcinoma cells by adenovirus-mediated gene transfer of herpes simplex virus thymidine kinase.' He patology, 1995, vol.22, p.118-123	1-6

C (続き) 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	WO 96/21014 A2 (CHIRON VIAGENE INC) 1996.07.11 & AU 9646080 B & EP 796331 A1 & JP 10-511951 A	1-6
A	WO 96/9074 A1 (GEN HOSPITAL CORP) 1996.03.28 & AU 9536750 B & EP 785803 A1 & US 5731182 A & JP 1 0-506530 A & US 5871986 A & US 6238914 A	1-6
A	WO 01/60415 A1 (IMMUNE RESPONSE CORP) 2001.08.23 & AU 2001/38485 B	1-6
A	KURODA, S. et al. 'Hepatitis B virus envelope L protein part icles.' J. Biol. Chem., 1992, vol. 267, no. 3, p. 1953-1961	1-6
A	CA 2131415 A1 (GERMANY) 1995.09.05 (family: none)	1-6